

東通村立東通小学校 平成29年度 学校経営の方針

校長には、学校としての明確なビジョン（将来のあるべき姿、将来の見通し、構想）、教育理念（目指すべき姿）、教育目的（目指すべき姿に向かって進むべき方向）、教育目標（目的を実現するために達成すべき目標）といった「学校経営の方針」を示す責任がある。

このような「学校経営の方針」は、子ども、保護者、職員、地域の実態に沿って立案された具体策、その実践を通して得た成果や課題を把握してこそ、初めて示すことができると思う。

したがって、子ども、保護者、職員、地域、そして、これまでの具体的実践など、情報量に乏しい私が、年度始めに年間を見通した「学校経営の方針」を示すことは憚れる。

そこで、私が考える学校経営の方向性は示しますが、方策は前校長の方針のもとに編成された教育課程を踏襲する。

ただし、夏期休業中を目処に、1学期を通じて知り得た情報をもとに「東通小学校の学校課題解決に向けた2学期からの具体的方策」を提示したいと考えている。

I 東通村学校教育全体構造図

1 東通村教育委員会「施策の柱」

人づくりのための学力の充実
- 保幼小中一貫教育の推進 -

実践的コミュニケーション能力の育成
- 英語教育・国際理解教育の推進 -

自立した社会創造の担い手の育成
- 東通科（自然・文化・人間）の推進 -



2 東通学園校訓・教育目標

	日 進	感 謝
校 訓	学業、スポーツなど、物事を成し遂げるにあたっては、毎日少しずつ順序を追って進んでいくことが尊い。 一步一步確実に、それぞれの個性を伸ばして、理想に向かってたくましく生きる力を身につけて欲しい。	人は、自分だけで生きているのではない。 人間社会の関わりの中で、また、自然界の一員として、生かされていることを忘れてはならない。 感謝の心を持って、人に接するとともに万物を大切にしたい。
教育目標	知性を磨き、豊かな心をはぐくみ、自主自立をめざす子どもの育成	

↓
そして

II 本校の課題

知

習得・探究・活用

徳

豊かな道徳性
(向上心・規範意識・郷土を愛する心)

体

肥満解消・基本的生活習慣



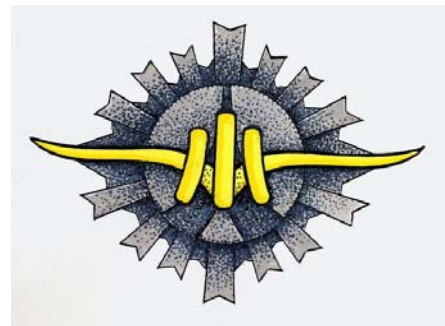
- | | | | |
|------------------|--------------------|-------------|------------|
| ◆学力の向上 | ◆規範意識の醸成 | ◆基本的生活習慣の定着 | ◆情報モラルの必要性 |
| ◆職員的意思疎通（3つの職員室） | ◆保護者との意思疎通 | ◆部活動への期待 | |
| ◆気になる児童への特別な支援 | ◆スクールバスによる教育活動への制約 | | |
| ◆こ小中一貫教育の推進 | ◆新しい学習指導要領への対応 | | |

↓
これらを受けて

Ⅲ 「学校経営」の「基本方針」

1 「学校経営」とは

経営とは単なる理念や理想ではなく、実践行動を意味する言葉である。もう一步進んで言えば、「成果」を上げるべく力を尽くす営みである。したがって、学校経営は要請に応える実践、その実践の積み上げであると言える。



今年度、開校13年目、1校統合9年目を迎える本校は、歴史は浅いものの、校章に込められた「夢や希望に満ちあふれ、伸び伸びと逞しく大志を抱いて成長してほしい」との願いは、地域や本校の卒業生、勤務した職員の願いとして、今日まで受け継がれていると言ってよい。

私たち東通小学校の職員は、この願いを受け継ぐ担い手であることを自覚し、子どもの未来につながる仕事に携わっているという誇りを持ち、更なる成果・向上を目指して教育活動の実践に努めていきたい。

↓
また

本校は、校長と教頭、そして数名の主任が変わったことで、手探りの中でのスタートを余儀なくされる。このように、大きな変革のとき、また、煩雑な状況に置かれたとき、私たちは原点に戻り、シンプルに考えることが求められる。

そこで、以下の3点を「学校経営」の「重点」とする。

- (1) コミュニケーションを図る（職場のコミュニケーションの基本は「報告」「連絡」「相談」「確認」である）。
- (2) 本質を見抜く力をもつ（全ての教育活動は「学校教育目標」の「具現」である）。
- (3) 今やるべきこと、今だからできること、思慮深く優先順位をつかむ。（常に検討と修正・改善の視点をもつ）。

↓
これらを受けて

2 「教育理念」（平成29年度設定）

本校職員は、「子どもは愛情によって育ち、信頼によって自立し、ほめることによって伸びる」という信念のもと、職員一人一人の創意と英知を集め、「ともに育つ・ともに育てる」を基調に、子どもが自らの力で将来を切り拓いていくために必要な「確かな学力」「豊かでたくましい心」「健やかな体」を育成する。

↓
そのために

3 「学校経営」の「基本理念」（平成29年度設定）

本校に通う全ての子どもに、自分の生き方を考え、自分の力で将来を切り拓くために必要な「基礎学力」「強い意志」「健康な体」、そして「自己有用感」「自己有能感」を育てていきたい。

↓
そこで

4 「学校づくりのスローガン」(平成29年度設定)

目指す学校づくりを推進するために、子ども、職員、保護者、地域の方々が目指す方向を明確に意識できるよう、「学校づくりのスローガン」を設定する。

子ども(職員)が期待を胸に登校(出勤)し、充実感をもって下校(退勤)する学校

↓
これを踏まえて

5 「学校教育目標」(平成20年度設定)

知

よく考える子

徳

おもいやりのある子

体

たくましい子

↓
学校教育目標の具現を目指し

6 「努力目標」

知(平成21年度設定)

めあてをもち
進んで学習する子ども

徳(平成29年度設定)

自ら考え
よりよく行動する子ども

体(平成22年度設定)

健康に気をつけ
進んで運動する子ども

↓
これを受けて

IV 「めざす姿」

1 めざす学校の姿

(1) 究める学校

- ①他の学級や学年の良さを学び、校内研修の日常化に努め、授業力を高め、基礎的・基本的な内容の定着を目指し、教師の授業力を究める。
- ②固定観念にとらわれず、思考力・判断力・表現力等の向上や「21世紀型能力」の育成を想定した問題解決学習や体験学習の充実を目指し、子どもの学びを究める。

(2) 鍛える学校

- ①学校を安全で清潔な学びの場とし、安心して学べる教育環境で子どもを鍛える。
- ②生活規律(基本的な生活習慣)・学習規律(基本的な学習習慣)を基本に据え、職員全員が共通理解のもと、温かさと厳しさの調和のとれた指導で、規範意識を鍛える。

(3) 安心・安全で信頼される学校

- ①学校教育では命が何よりも優先されること、「生活安全」「交通安全」「災害安全」を絶えず心がけることで、安心・安全な教育環境を創り出す。

- ②家庭や地域社会と積極的に連携し、相互理解を深め、地域の教育力を活用することで、子どもの学びの場を広げる。



そのためには

2 めざす教師の姿

(1) 信頼される教師

- ①サービスの厳正に努力する姿勢が信頼をつくる。
- ②研修への前向きな姿勢が自信と余裕をつくる。
- ③情熱と英知が「わかる」「できる」授業をつくる。

(2) 努力を惜しまない教師

- ①変革への対応と普遍的な価値を追究する姿勢が授業力を鍛える。
- ②向き合うのではなく、一緒に並んで目標に向かう、ベクトルの向きを揃える姿勢が児童理解を鍛える。
- ③子どもに寄り添い、先頭に立って牽引する、下から支える姿勢が指導力を鍛える。

(3) 明るく前向きな教師

- ①子どもの軋轢や諍いを、個別では育てられない思いやり、忍耐力、社会性などを身に付けるチャンスと捉える姿勢が、前向きな人づくりに繋がる。
- ②挨拶や返事、正しい言葉遣いを率先して示す姿勢が、明るい人づくりに繋がる。
- ③自分の心身の健康管理に関心を持ち、実行する姿勢が、元気な人づくりに繋がる。



そのためには

3 めざす職場の姿

(1) 子どもも職員も「行きたい」学校・職場・職員集団

- ①風通しの良い職員集団（職員室）
- ②子どもや職員の良さを見つけ、話題に上る職員集団（職員室）

(2) お互いに「のりしろ」のある職員集団

- ①お互いの立場が尊重され、秩序を重んじ、責任を果たす職員集団
- ②それぞれの分掌や分担を少しずつバックアップできる職員集団

(3) 和を大切に、共に汗し、弱音を出せる職員集団

- ①しんどさ、ストレスを小出しに出せる職員集団（職員室）
- ②励ましや思いやり、称賛に満ちた職員集団



努力目標の具現を目指し

V 「中期目標」と「短期目標」及び「方策」と「成果指標」

1 中期目標1：「確かな学力の育成」

- (1) キーワード：①対話的な学び（アクティブな学び）
②算数へのてこ入れ
- (2) 短期目標：①分かる授業の実現
②習得・活用の取組
③特別な支援の構築
④英語教育への理解
- (3) 方 策：①授業力向上と自己目標の設定
②加配教員等の活用（少人数・習熟度の実施、ひとみタイム・放課後の充実）
③特性に応じた指導・学習形態の工夫
④特区英語についての共通理解
- (4) 成果指標：※各計画で提示

2 中期目標2：「豊かでたくましい心の育成」

- (1) キーワード：①学級活動の年間指導計画の見直し（年度内）
②道徳の年間指導計画の見直し（年度内）
- (2) 短期目標：①道徳教育の充実
②自主活動の活性化
③情報モラル教育
- (3) 方 策：①授業づくり研修分かる授業の実現
②まずは指導者の創意工夫
③指導計画に基づいた指導、保護者への働きかけ
- (4) 成果指標：※各計画で提示

3 中期目標3：「豊かでたくましい心の育成」

- (1) キーワード：①学級活動の年間指導計画の見直し（年度内）
②道徳の年間指導計画の見直し（年度内）
- (2) 短期目標：①肥満対策
②健康・安全面の指導
③避難訓練の見直し

- (3) 方 策：①取組の継続（課題と運動・食育の取組の共通理解）
②家庭を巻き込む取組（保体部・指導部と学級担任との連携）
③不審者侵入訓練の実施，県原子力防災訓練への対応

(4) 成果指標：※各計画で提示

4 中期目標4：「家庭・地域との連携」

- (1) 短期目標：①保護者との連携強化
②保幼小中一貫教育の充実
- (2) 方 策：①ニーズに即したP T A研修、個別面談の実施
②喫緊の課題である学習のS t e p U pへの重点化した取組
- (3) 成果指標：※各計画で提示